

退任の挨拶

前沖縄県医師会 監事
(眼科クリニック幸地) 幸地 賢治



1年位前、某先生より「県医師会の監事をしてもらえませんか？」との依頼があった。依頼の雰囲気というか、当たりが良かったので二つ返事で引き受けてしまった。これが誤りの始まりである。確定した話ではなかったが、院内の事情で私自身の院長退任の話が出ていたのである。本人の自覚としても、年齢の関係（老害）も含めてクリアしにくいこともあるのかなと思っていたのである。そうこうしながらも話は段々と煮詰まってきて、私のブツブツブツという不快感は完全に無視されたものとなった。継承の話は以前から出ていたが、漠然と「今」ではないなという気持ちのまま進んでいたのである。その頃色々な方から「ちょっとは手を抜けよ。」の助言を頂いた。「沢山の患者さんを継承

者に丸投げしては可哀想だよ。」とおっしゃる方が多くおられたが、元々手拔きの出来る性格ではないので無視してしまった。婿に継承してから彼は大変どころか普通にこなし、最近はお客さんが増加しているという。今年の4月に円満退職した。今後はどんな晩年を迎え、過ごすかに頭を悩ませています。良い方法があれば教えて下さい。

事務局にもお世話になった。局長はじめ職員さんたちにも細々と気遣いを頂き、有難うございました。

最後に、長年に渡り医師会のお世話になり、色々ご教示、ご指導を頂きました事、御礼申し上げます。有難うございます。

